

令和8年度 特別支援学校就労達成総合推進事業

「挑戦」一般就労へ挑戦する学校へ
*一般就労希望率の向上 *一般就労希望達成率の向上

「調整」専門的知見に基づく調整
*一般就労希望達成率の向上

さくらの杜高等支援学校 によるセンター的機能

進路に関する指導改善

1. 授業・実習等のWeb配信・コンテンツ制作
 - 特別講師等による授業等のリアルタイム配信及びオンデマンド配信
2. 企業へのアピール
 - 合同企業説明会の実施
 - ビジネススキル育成セミナー・コンテストの実施
3. 教員の実務スキルの向上
 - 専門教科実務研修の実施
 - 専門家による講義及び実技を通して知識や技能を学ぶ

1. 進路実現戦略会議(全4回)
 - ◎学校の組織的な進路指導の更なる充実
 - 各校の系統的進路指導の計画を策定
→管理職を含めた組織的な進路指導の徹底
 - 企業主による進路講演の実施
→外部連携
 - 参加者:学校(管理職・主幹教諭・進路指導主任等)、企業、県教委
2. 保護者向け就労意識向上講演会(6カ所開催)
 - 一般就労した本人・保護者、企業、による講演
3. 生徒向け就労意識向上講演会(各校)
 - 生徒を対象に、卒業生・企業等による講演
4. コミュニティ・スクール導入
 - 就労や福祉サービスを含めた地域での生活のあり方の確立
 - 就業先となる企業等との連携・協働
5. 就労技能向上実技講習会(各校)
 - メンテナンス等、企業等による実技講習会
→ 各校の実態に応じた職業教育の実施
6. 企業との連携によるワーキングフェアの充実(各校)
 - 地域企業(特に新規企業)等へのアピール
 - 企業等による作業内容の紹介ブースの設置等

ジョブ・コンダクターの配置

- ◎ 知的障がい者の就職に関する専門的知識を有した人材を7名雇用
- 開拓した企業に対する、生徒の特性等に応じた個別の業務内容や支援方法等の提案
- 学区を越えた進路情報の提供等
- 進路指導困難事例への支援
- 商工観光労働部、福祉保健部、企業団体等との連携強化

就業スキルが身についた生徒を育成

進路マッチングが成功

「成長」一般就労リトライの機会確保

キャリアステップアップ

- 県立学校で3年間雇用し、一般就労へのスキルアップを目指す
- 対象
・一般就労を目指している新卒者
・解雇等された卒業生
(卒後5年まで)
- 雇用1年目の支援を充実(SUサポーターによる個別の課題の明確化と適切な支援)
- 定員:6名
(知的障がい者の雇用)
- 支援者:SUサポーター
3名雇用

一般就労が達成できなかった場合

離職した卒業生

他の特別支援学校への
職業教育の発信

中小企業家同友会等、地域の企業や他部との連携を通じた指導・支援

一般就労の実現